

あそびが
e-ハマハウスです！
詳しくは24ページ！



RifuTown
assembly

議会だより

りふ

9月定例会

- 議会報告会 2
行政区長会と意見交換
- 政策提言 4
各常任委員会が町長へ提言書を提出
- 決算審査 6
皆さんの税金は適正に使われたか
- りふ議会だより200号特集ページ編集者募集 25
若い世代とつくる200号！
- いきいき活動 26
まちをイベントで盛り上げる「RIFU BOOST」を紹介

第 The
9 9th
回

議会報告会

開かれた議会を目指して

行政区長会と意見交換

利府町議会では「顔が見える議会」「開かれた議会」を目指し、議会で審議したことや、議会の取り組みなどを町民の皆様へ直接説明すると同時に、議会や町に対する貴重なご意見を伺う場として議会報告会を開催してきました。

今回は行政区長会と「町政と自治会運営」「利府町文化交流センター（リフノス）第2期整備」などをテーマに意見交換しました。



団地内の除草や高齢者支援、公共交通、リフノスの運営などを意見交換。



議員と話す機会が少ないので、大変良かったと思います。地域がよくなることにつながればと期待しています。

春日二部地区
菅原行政区長



利府第二小学校の移転建て替えの情報を知ることができてよかった。

神谷沢地区
柳澤行政区長



リフノスの大ホール整備や町内会運営などを意見交換。



普段の区長会では話題とならない内容を、聞いたり、話すことができてよかったです。

藤田地区
今野行政区長



東部地区のさまざまな課題や観光、リフノスの大ホールなどを意見交換。



町内会運営や除草、ゴミ出しルール、防犯灯などを意見交換。



東部地区の悩みは皆さん一緒。その共通課題を何とか打開できるように、議員にはがんばってもらいたい。

須賀地区
櫻井行政区長



町への意見

●草刈り

- 道路脇や法面の草刈りを住民が行っている。高齢化が進み困難となってきたことから対応してほしい。
- 自走式草刈り機導入へ補助してほしい。

●まちづくり

- 町は市制を目指しているが、開発が進んでいる地区との差がありすぎる。バランスのよいまちづくりを考えてほしい。
- 「子どもに優しいまち」に加え「高齢者にも優しいまち」の施策を進めてほしい。

●ごみ収集

- ごみ集積所の整備を支援してほしい。
- 一人一人がごみの出し方のマナーを徹底するようにさらに取り組みを進めてほしい。

●漁港

- 須賀漁港は水深が浅い場所があり、船が満潮の時にしか出せなくなっている。しゅんせつしてほしい。

●交通

- 団地内を走るバスは、日中の便数が少なく高齢者のニーズに対応しきれていない。運行時間帯・便数の拡充を検討してほしい。

●町内会運営

- 町内会活動のデジタル化が遅れている。町からの情報伝達は未だに行政文書、回覧板が中心となっている。若い人と我々の世代間でギャップが出てきている。

●選挙投票立会人

- 投票の時間に携わる時間が長すぎる。半日で交代できるようにしてほしい。



「文化交流センター（リフノス）」第2期整備への意見

- 既存の400席ホールは手狭なので、大ホールの計画は進めてほしい。
- 町に大ホールがないため学校で行事がある場合、多賀城のホールを借りることがある。大ホールはあっていいと思う。
- 需要・財源・交通アクセス等を検証し、住民参加型ワークショップを行う必要がある。拙速な判断は避けるべき。
- 全国的に人口減少が見込まれるため、公共施設は近隣自治体で一つの施設を運営するといった考え方が必要だと考える。

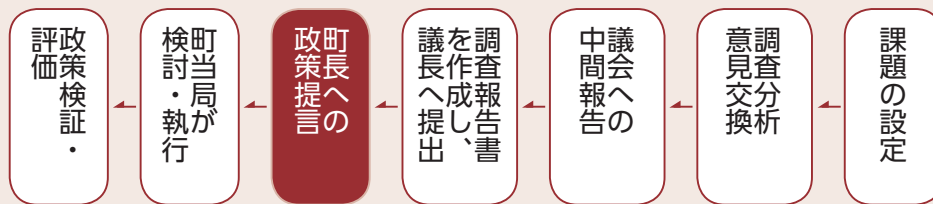
いただいた課題や意見は今後、委員会で精査して対応していきます。

政策提言



議会活性化の一環として平成28年度から行っている委員会活動です。まちづくりに関する政策の調査・研究を行い、政策提言として取りまとめ、町長へ提出しています。今後の町政発展へ活かされるよう検討を求めるものです。

政策提言の流れ



総務企画常任委員会

提言テーマ

選挙の投票率向上

町における選挙の投票率は、近隣自治体と比べ低い水準となっています。町では投票率向上の施策を行っていますが、改善には至っていません。投票率が低いままでは、町の施策に対する町民の意見が十分に反映されないおそれもあります。そこで、投票率向上に向けた対策の検討が必要であると考え、現状と課題を分析しました。その結果、委員会としては、①確実な選挙情報の提供、②現状に即した投票環境の整備、③主権者教育の推進の3つの視点の対策が必要であることが導き出されました。これらの視点から次の改善策を提言しました。

1 短期的な改善策

- ・選挙公報の配布体制の改善
- ・LINE及び「まもりふ」の活用
- ・親子での投票を促す施策の実施

2 中長期的な改善策

- ・投票所を駐車場のある施設に集約

- ・共通投票所の整備
- ・期日前投票の移動型投票所の整備
- ・主権者教育の推進
- ・選挙への関心を高める施策



花園二丁目集会所

投票所には駐車場がほしい

産業建設常任委員会

提言テーマ

中小企業・小規模企業者の支援策

令和3年10月に策定された「利府町中小企業・小規模企業者振興基本計画」の実施状況を確認し、町の中小企業・小規模企業者における課題を抽出しました。課題として、経営基盤の脆弱な小規模企業者への直接的な支援、小売業者への支援、特産品の開発と販売戦略の3点を見いだしました。その課題への施策を推進するために、次の内容を提言しました。

1 経営基盤の脆弱な小規模企業者への直接的な支援

- ・ 中小企業振興資金融資及び新たな助成金制度の実施
- ・ 設備投資への支援

2 小売業者への支援

- ・ 国の助成金等を活用した地域振興支援
- ・ 小売業を対象とした販売促進企画の実施

3 特産品の開発と販売戦略

- ・ 新たな特産品の開発
- ・ 将来性のある開発への設備投資支援

- ・ 特産品やふるさと納税返礼品のアンテナショップの設置
- ・ 特産品や返礼品の広報活動



特産品のアンテナショップで事業者支援を

教育福祉常任委員会

提言テーマ

子育て支援体制のさらなる充実

子育ての環境が大きく変化するなか、子育て支援事業を社会環境や養育者のニーズにあった支援策へアップデートをしていく必要があると考えます。各事業の再検討とさらに質の高い支援策を検討しました。

先進自治体の取り組みや、子育て世代の声を反映し、次の内容を提言しました。

1 子育て支援施策

- ・ 産後ヘルパーサービスの導入
- ・ 子育て支援窓口のワンストップ化
- ・ 相談体制の充実強化
- ・ 学校給食費無料化
- ・ 講演会・イベント等の開催日時の工夫
- ・ 予防接種費用への助成

2 ファミリー・サポート・センター事業

- ・ 協力会員情報の開示
- ・ 登録・申込のオンライン化

- ・ 産後支援クーポン制度の復活
- ・ 新生児を預ける際の体制整備
- ・ アドバイザー体制の充実
- ・ 報酬体系の見直し
- ・ PR活動の推進
- ・ 周辺自治体との連携



ニーズに合った支援策が必要です

地域包括支援センター事業

高齢者の総合相談窓口として、介護予防の推進や、生活支援体制の整備
認知症施策が実施されました。

5808
万円



利府小学校第二児童クラブで認知症サポーター養成講座の様子



はしもと わたる
橋本 亘さん



認知症カフェ「忘れな草」
や「カフェなし畑」「ちょこ
っと貯筋体操」など、なか
なか良い取り組みだと思い
ます。



874
万円

※写真はイメージです

ゼロカーボンチャレンジ事業

家庭における二酸化炭素等の温室効果ガス排出量を削減するため、省エネルギー
性能の高い家電等買い換える個人に対して補助金を交付しました。

12ページに関連記事



こじま やすお
小島 保夫さん

我が家も助成を受け
て家電を購入しまし
た。これからもゼロ
カーボンへの取り組
みを続けてください。

令和6年度 決算 注目事業

議会が注目した事業を紹介します。

決算額は、令和6年度のための金額であり、全体事業費ではありません。複数年事業のものもあります。

地域観光新発見事業

1193
万円



伝統を活用した学習型ツーリズムと体験型セルフツアー創出事業が行われました。12ページに関連記事



新中堀新川崎線 道路整備事業

慢性的に渋滞が生じている県道仙台松島線の渋滞緩和のため総延長550メートルの改良工事が行われました。

3億
9402
万円

文化交流センターリフノス運営事業

開館から4年目となり、目玉事業が確実に集客につながったことで令和6年度の年間来館者数は25万人となりました。施設利用者の交流活動の活性化が図られました。

2億
5620
万円



図書館の本は多くの学びを与えてくれます。文化を創造するまちの施設として大切に維持管理してほしいです。



うじいえ こうじ
氏家 晃司さん

決算審査



利府聖光こども園
「わくわくランド」



出張子育て広場
「モクイクひろば」



青山すぎのこども園
「ほかほか」



アスク利府保育園
「ありのみ」



西部児童館
「りふ〜る」



中央児童センター
「十符っ子」



東部児童館
「ペア・きっず」

子育て広場

子育ての相談や情報提供を行うことで、保護者の孤立感や不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する環境づくりが推進されました。

2117
万円

※金額は、万円未満切り捨て

物価高騰子育て世帯応援米支給事業

国からの物価高騰対応交付金を活用し、子育て世帯へ未就学児・児童1人当たりお米5Kgが配布されました。

305
万円



お米が高騰する中、町からの支援があり、家族でおいしくいただきました。子育て家庭を思う取り組みに感謝しています。



いのまた ゆうこ
猪又 裕子さん



「第3回よく眠れる町フェスティバル ミニ野球教室」の様子

1億
2458
万円

包括型地域おこし協力隊支援事業

さまざまなプロジェクトを通し地域活性化や商品開発などを行い、町の魅力の発信に努めました。地域活性化や産業振興等を図るため、担い手となる人材を確保するとともに、地域における活動を通じて定住・定着を図り、地域力の維持・強化を促進することが目的です。

算

皆さんの税金は

適正に使われたか

一般会計予算

153億8500万円

令和5年度比3.5%増



さまざまなチャレンジをした人に助成しました

夢チャレンジ応援助成金
チャレンジの内容は？

問 助成した人の活動内容は？

答 18件の申請があった。具体的な内容は、バレーボールチームや利府ラリーに出場した人、フェンシングで世界大会へ出場した人など、スポーツ関係が多かった。

問 上限10万円の金額を設定しているが、実際に交付した額は？

答 18件中、17件は限度額の10万円、1件は6万3000円となっている。

リフノス第2期整備
アンケートの結果は？

問 文化交流センター（リフノス）の第2期整備のアンケート調査を実施している。調査結果はどうか。

答 調査表を2000人に送付し、788人から回答を得た。第2期の大ホール整備が必要との回答が49%、不要・分らないが48%だった。

問 意見が拮抗している町民が意見を出しやすい体制を整え、丁寧に進めるべきである。

答 第2期工事として大ホール整備計画がある中で、資材の高騰などさまざまな課題が出てきている。推移を見ながら検討を進めていきたい。

問 この結果を、町としてどのように捉えているのか。

答 このアンケートでは、建設費を示していない。

答 「文化複合施設基本構想・基本計画」は策定してから年数が経っている。工事に着手する際には、新たに住民の声を取り入れ進めていく必要があると考えている。

妊婦歯科健康診断

みんな受けたの？

問 対象の人数は？

答 363人である。

問 受診者は111人であった。この受診者数をどの様に評価しているのか。

答 予定では、5割の受診を見込んでいたが3割に留まった。健診の結果、虫歯や歯周病の人が多かったことから、周知を徹底していく。

決算審査特別委員会で 徹底審議

令和

6

年度

決



伊藤 司 委員長

令和6年度の一般会計及び各種特別会計・企業会計の決算は決算審査特別委員会（委員長・伊藤司議員）で、9月5日から11日の7日間審議しました。町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

児童クラブの冷房

清掃状況と設定温度は？

問 利府第三小学校児童クラブのエアコンの分解清掃を行っている。他の児童クラブは、点検・清掃の必要性はなかったのか。

答 一年おきに、分解清掃を行っている。

問 エアコンの設定温度は何度か。

答 28度で設定しているが、近年の猛暑で、エア

コンの設定温度を下げ、フル稼働で対応した。しかし、室内温度が下がらない状況であった。

問 現状のエアコンでは十分ではないと考える。増設が必要ではないか。

答 来年も猛暑が続くと考えられる。しっかりと予算を確保し対応したい。

選挙公報の新聞折り込み

新聞を取っていない世帯は？

問 選挙公報の新聞折り込みが開始された。効果は。

答 町内会の配布負担が減ったことが一番の効果だと受け止めている。

問 新聞を取っていない世帯への対応は。

答 郵送で対応すること

を広報紙やホームページで周知している。また、公共機関にも設置しているので確認していただきたい。

シルバー人材センター助成事業 登録者が減ってるの？

問 シルバー人材センターの登録者が減っている理由を把握しているのか。

答 令和5年度から6年度まで24人減っている。

新規加入者よりも、体調不良などで辞める人が多い。全国的な傾向として新規加入者が減っている。

問 仕事の請負件数の状況はどうか。

答 就労延べ人数は増えている。

問 リフノスなど公共施設での活躍を考えられないか。

答 現状を確認し、検討したい。



元気に活躍しています

観光コンテンツ造成

コンテンツの内容は？

問 「観光協会」と「まちづくり利府」に交付している補助の金額は。

答 「まちづくり利府」

に660万円、「観光協会」に530万円である。

問 観光コンテンツ造成の成果はどうか。

答 町として課題と捉えていた、学習型ツーリズムと体験を組合せたコンテンツを「まちづくり利府」に造成してもらった。「観光協会」には、主に

インバウンドをターゲットにした、和の文化を体験できる内容のコンテンツを行ってもらった。

問 補助金を交付した形になっているが、実際は町の担当が携わっている割合が多いのでは。

答 2つの団体は、まちづくりや観光振興を図っていく上で必要不可欠な団体である。後押しをすることが町の役割と考えている。

定住促進住宅管理

要望に応じて補修するの？

問 定住促進住宅のベランダパネル塗装工事を2件行っている。入居者からの要望だったのか。

答 入居者から連絡を受け対応した。

問 入居者から「ベランダに布団をかけると白い粉が付いて困る」との声が多い。調査をしているのか。

答 現場の状況を確認して判断する。

問 ベランダパネルの塗装は要望があれば対応するか。

答 問題があれば職員が確認し速やかに対応している。

企業誘致促進事業

成果は出たの？

問 委託事業として、632万5000円支出している。成果は。

答 町に合った企業構造を分析し、3000社に絞り込んでアンケート調査を実施した。その結果、約100社から回答があり、可能性のある企業をリスト化した。

問 その100社の中で、具体的に話が進んでいる企業はあるのか。

答 これからアプローチをかける段階である。

問 町の強みを、どのように捉えているのか。

答 分析の結果、電子デバイス、金属加工業、鉄道関連産業に優位性がある。また、交通アクセスの良さも強みである。

ゼロカーボンチャレンジ 補助内容を増やしたの？

問 当初予算は750万円だった。しかし、決算では、874万5000円となっている。当初予算を使い切った時点で終了する予定は？

答 当初、省エネ家電の補助は行わない予定だった。しかし、要望が多かったため、そちらにも補助金を充てた。

問 補助件数の内訳は。

答 エアコン74件、冷蔵庫83件、太陽光発電システム11件、蓄電池11件、ごみ処理機16件である。

世代間交流「リフレンド」

どんなことをしたの？

問 開催回数11回、延べ382人の参加との説明である。開催の目的と内容は。

答 地域の人と小学生の世代間交流や、子どもにとっての安心安全な居場所づくりを目的としてい

る。主に土曜日、総合体育館を会場に体験講座や自由遊びを行っている。また、巡視船の見学、落語や将棋、スポーツ見学など幅広く行っている。



利府焼を体験中

イングリッシュキャンプ

子どもたちの反応は？

問 小学校4年生から6年生までの児童が参加している。実施内容は。

答 8月上旬に2日間、宿泊なしで実施した。参加人数は、27人である。

問 アメリカ人のボランティアがいたと聞いている。参加した経緯は。

答 この事業は森郷キャンプ場を管理運営しているキリスト教の教会に業務委託している。アメリカ

力にあるガーデナバレーバプテスト教会の関係者である。

問 町として成果をどの様に捉えているのか。

答 アンケートを取ったところ、子どもからは「英語を身近に触れることができた」「また参加したい」との声があり高評価をいただいていると捉えている。

mobiiの経費

2台で運行しているの？

問 利府町版mobiiの委託費の内訳は。

答 運行経費が約5160万円、コールセンターなどを含むシステム利用料が約1186万円、効果検証業務が約880万円である。

問 事業者との運行契約の内容はどのようになっているのか。2台運行しているが状況はどうか。

答 ドライバーの休憩もあり、現在、午前中2人、午後2人の体制で運行している。



楽しく英語を学びました

決算審査意見

より一層の有益な

活用を望む

代表監査委員



宮城 正義

監査委員



土村 秀俊

令和6年度の決算は令和5年度に比べ、一般会計及び各特別会計の歳入総額が2.3%、歳出総額が2.4%の増加であった。審査の結果、計数は正確であると認められた。

収入関係では、法人町民税、固定資産税の増額はあったものの、個人町民税が国の経済対策として実施された定額減税による減額もあり、町税全体では、令和5年度と比較し1億323万円減少した。

収納対策としては、休日・夜間相談窓口の開設、徴収員の積極的活用や納税者の利便性の向上を目的としてアプリ収納等で徴収努力が認められた。今後も税の公平、公正の観点から、適切な収納対策を講じることを期待する。

ふるさと納税制度は、全国的には物価高騰に伴い、返礼品として米や日用品の需要が増えたが、利府町ではこれらの返礼品の取り扱いが少ないため、令和5年度より町への寄附件数が1万2779件の減少、寄附額としては7246万円減少した。今後も適切な管理と効率的な運用に努めてもらいたい。

収入未済額は、町税で令和5年度に比べ114万円増加している。その要因は、物価高騰による社会情勢等が影響しているものと推測する。今後とも収入未済額縮減の取り組みに努めてもらいたい。支出関係は、適正に執行されていた。今後も、より一層の予算の有益な活用を望む。

反対

基金は暮らし応援に活用すべき



金萬 文雄

町民の暮らしを支える施策の部分は認める。しかし、地方債が2億円増加し10億円となった一方で、基金総額は約38億円である。基金は暮らし応援に有効に活用されるべきである。地域振興費・観光費・地域おこし協力隊支援などに9億円以上を支出しているが、支出に見合った効果が反映されているのか疑問である。教育資金利子補給事業の利用者が4人に減少、町民のニーズに合致しておらず、奨学金制度実施の検討をするべきである。以上を指摘し反対する。

賛成

健全な行財政運営が図られた



鈴木 晴子

財政指標では、財政力指数や実質収支比率が安定している。県平均を上回る指標も見られ、健全性が確認できる。将来のまちづくりを見据え、道路計画の策定や道路整備工事に取り組んだ。また、町営住宅の集約建て替えに向け、建設事業者の選定を行った。公共交通の充実では、「利府町版mobi」の実証運行の継続を行った。子育て支援では、町独自の事業が継続的に図られた。各事業が着実に実施され、健全な行財政運営が図られたことから、賛成する。

反対

負担軽減の検討を



金萬 文雄

国保事業が町民の健康と福祉の増進に寄与する施策であることは認める。国保税の一世帯当たりの調定額は、令和5年度より2万8000円増の18万3000円である。物価高騰の中で生活を直撃し、さらに困難にしている。国保税の滞納額は約1億円であり、町は住民の暮らしに寄り添い、国保税の引き下げに努力すべきである。また、マイナ保険証への切り替えで短期保険証の発行がない。暮らしを優先した相談など、丁寧な対応を求める。以上を指摘し反対する。

賛成

加入者の健康保持に努めている



小淵洋一郎

医療費の増大は国保財政を圧迫する大きな要因であり、その削減が課題である。高齢者が年々増えていく現状を踏まえ、国保加入者の健康保持・増進が極めて重要となる。町は「データヘルス計画」に基づき各種健診事業の実施など、国保加入者の健康保持・増進を奨励している。医療費の削減に努め、令和6年度の歳出は減額となっている。今後も公平性を保つとともに、国保加入者の健康を守って行くことを期待し賛成する。

9月定例会 令和6年度各種会計決算 採決状況一覧

○賛成×反対 議長(鈴木忠美)は採決に加わらない。

議案	郷右近佑悟	阿部彦忠	須田聡宏	高木綾子	皆川祐治	鈴木晴子	金萬文雄	土村秀俊	浅川紀明	今野隆之	小淵洋一郎	高久時男	伊藤司	羽川喜富	永野渉	鈴木忠美	議決結果 (賛成:反対)
認定第1号 一般会計	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(13:2)
認定第2号 国民健康保険	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(13:2)
認定第3号 介護保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
認定第4号 後期高齢者医療	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
認定第5号 町営墓地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
認定第6号 水道事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
認定第7号 下水道事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)

決算を除く議案の採決状況は、18ページに掲載しています。

国保特別会計補正予算

システム改修費用に154万円増額

令和7年度国民健康保険特別会計補正予算に265万円を増額し31億6781万円とするものです。補正予算の主なものを紹介します。

問 令和8年度開始の子育て支援制度に伴うシステム改修とのことである内容は。

答 子育て支援策の給付拡大を図るための制度で国民皆保険制度の枠組みを利用し、負担金を徴収する内容である。

問 令和8年度の負担額はいくらか。

答 国保制度においては、一人当たり250円と国から示されている。

問 毎年上がる試算なのか。

答 国は50円や100円ずつ上がる試算を示している。加入先や被保険者数によっても変わるため、目安として捉えていただきたい。

事故の和解と損害賠償額の決定

除草作業中の飛び石事故

令和7年4月、県道塩釜吉岡線において歩道の除草を行っている際、飛び石が走行中の車両の一部に損傷を与えました。町の負担割合が10割の内容で相手方と和解が成立したことから、議会の議決を求められました。なおこの、損害賠償金は全国町村会総合賠償保険により補填されます。

事故和解

Number
議案53



さらなる安全管理徹底を

問 損傷の内容は。

答 助手席ドアの損傷及び、助手席窓ガラスの全損でドア1枚全てを交換した。ガラス破片等の車内清掃一式も行った。

問 全国町村会総合賠償保険で全額補填されないとの説明である。理由は。

答 保険金額と相手方が求める補償内容に差が生じ納得いただけなかった。差額に関して訴訟された場合の弁護士費用などを考え、経済的合理性から差額を支払った。

問 事故防止に向けた今後の取り組みは。

答 作業員全員に安全衛生の資格を取得させた。また、安全管理に関する講習やミーティングを行う注意・指導を行っていく。

問 防護ネットを設置しても飛び石は起こるという意識で、作業に臨むべきである。

答 作業員に徹底していく。

人 事 固定資産評価 審査委員会委員

再任に同意しました。



しげかず 重一 氏
固定資産評価審査委員会委員は、固定資産台帳に登録された価格に関する不服を審査決定します。任期は令和7年10月から3年です。

300万円増

令和7年度
一般会計補正予算

6287万円を追加し

総額 **160億円**

令和7年度一般会計予算に6287万円追加し、総額160億3318万円とするものです。

■一般会計の主な補正予算項目

債務負担行為の補正

事業名	期間	限度額	理由
菅谷台保育所給食調理業務事業(追加)	令和8年度から10年度まで	9291万円	現行の給食調理事業契約満了に伴い、継続して業務委託をするため追加
利府第二小学校建替基本計画策定業務事業(追加)	令和8年度	2600万円	建て替えに係る計画策定をするため追加
小中学校児童生徒・教師用情報端末貸借事業(変更)	令和8年度から12年度まで	1億4210万円	タブレットにセキュリティソフトウェアを追加設定するため、限度額を変更
重点対策加速化事業(廃止)	令和8年度から11年度まで	6億700万円	事業が不採択となったため廃止

歳入(収入)

項目	補正額	理由
地方交付税	+4953万円	令和7年度の交付額が決定したことにより増額
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	+2258万円	国の経済対策として実施する定額減税補足給付金の対象者数が確定したため増額
スポーツツーリズムコンテンツ創出事業	+500万円	スポーツ庁から委託金が交付されることにより増額
地域脱酸素移行・再エネ推進交付金	-1億1338万円	重点対策加速化事業の不採択に伴い減額
財政調整基金繰入	-3億2856万円	財源調整により、予定していた繰入金を減額

歳出(支出)

項目	補正額	理由
地域活性化企業人制度	-560万円	当初6社を見込んでいたが5社に確定したことから減額
セカンドライフ応援事業	+200万円	健康寿命の延伸や地域活性化を図るため、高齢者の社会参加を促す事業を行うため増額
新事業チャレンジ応援事業	+300万円	当初の想定を上回る申請があったため増額
新型コロナワクチン接種関連補助金	-533万円	実施額の確定により返還金を増額
小学校水泳授業指導業務委託	+42万円	老朽化する学校プールの在り方と今後の水泳指導を検証する事業を行うため増額



町の特産品の担い手へ支援します

答 新規就農者が、梨の栽培を開始するにあたり

問 当初予算は67万円だった。増額の理由は。

推進事業

歳出
300万円

必要となる経費に対する補助金申請があったため増額した。



果樹生産拡大推進に

重点対策 加速化事業

歳出

1億538万円
減

問 国の補助対象事業の重点対策加速化事業が不採択となったとの説明である。太陽光発電やエアコンなどの購入へ補助を行う「ゼロカーボンチャレンジ事業」に影響はないのか。

答 エアコン買い換え補助は、県のみやぎ環境交付金を活用した。その他の事業は、令和8年度に向けて再構築し、再度チャレンジする。

小学校水泳授業 指導等業務委託

歳出

42万
7000円
増

問 老朽化する学校プールの在り方と、今後の水泳指導を検証する事業とのことである。具体的な内容は。

答 利府第二小学校の5・6年生が町民プールで授業を行う予定である。総合体育館を管理している指定管理者に委託する。



町のプールを有効活用し授業を行います

セカンドライフ 応援事業

歳出

200万円

問 補助の内容は。

答 65歳以上を対象に、趣味の幅を広げるための資格取得の受講料や受験料、参加費等を助成する。

文化体験型武道ツアー ズム企画運営業務委託

歳出

500万円

問 企画の内容は。

答 武道と歴史・文化を組み合わせ、新たな武道ツーリズムコンテンツを創出し地方誘客につなげたいと考えている。町の弓道場で行うことで、中高生弓道部との交流も組み合わせしていきたい。

問 地方誘客とのことだが、町内の人も対象とするのか。

答 富裕層の少人数旅行をターゲットにしたいと考えている。また、地域の人材づくりもこの事業の一環として位置づけており、弓道に関わりのある人に携わってもらいたいと考えている。



令和7年9月定例会 採決状況一覧 ○賛成 ×反対 議長(鈴木 忠美)は採決に加わらない。

議 案	郷 右 近 佑 悟	阿 部 彦 忠	須 田 聡 宏	高 木 綾 子	皆 川 祐 治	鈴 木 晴 子	金 萬 文 雄	土 村 秀 俊	浅 川 紀 明	今 野 隆 之	小 淵 洋 一 郎	高 久 時 男	伊 藤 司	羽 川 喜 富	永 野 渉	鈴 木 忠 美	結 果 (賛成：反対)
報 告 第 6 号 ～ 8 号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議 案 第 43 号 ～ 53 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決(15:0)
議 案 第 54 号	無記名投票による																同 意(15:0)
発 議 第 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決(15:0)

令和6年度各種会計決算(認定第1号～7号)は14ページに掲載しています。

令和7年9月定例会提出議案 23件(報告3件、認定7件、議案12件 発議1件)

報告6 専決処分

町営駐車場土地借地料において未払いがあり、遅延損害金が発生したことから、専決処分したことを報告

報告7 健全化判断比率及び資金不足比率

令和6年度一般会計、各種特別会計、企業会計の「実質赤字」、「連結実質赤字」、「資金不足」等の状況を、監査委員の意見を付けて報告

報告8 放棄した債権の報告

水道料金について、利府町私債権管理条例の規定に基づき債権を放棄したことを報告

議案43 職員の育児休業に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部が改正されることから、関係条例を改正

議案44 令和7年度一般会計補正予算

16、17ページに掲載

議案45 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算

265万1000円を追加し、総額を31億6781万9000円とする

15ページに掲載

議案46 令和7年度介護保険特別会計補正予算

9943万6000円を追加し、総額を27億3798万円とする

議案47 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算

1318万3000円を追加し、総額を4億7971万円とする

議案48 令和7年度町営墓地特別会計補正予算

94万円を追加し、総額を1231万5000円とする

議案49 令和7年度水道事業会計補正予算

資本的支出の補正を13万4000円増額

議案50 令和7年度下水道事業会計補正予算

収益的支出の補正を8万円増額

議案51 工事請負契約の締結

老朽化した屋外拡声子局設備の更新を目的として実施する電気通信工事の契約を締結

議案52 訴えの変更

町営駐車場への長期間放置車両の訴え提起について相手方のうち、1人が相続放棄をしたことに伴い請求を取り下げ、他の相手方に対する金銭請求部分を拡張

議案53 和解及び損害賠償の額の決定

15ページに掲載

議案54 固定資産評価審査委員の選任

郷右近重一氏の選任に同意

15ページに掲載

発議2 議会活性化特別委員会の設置

さらなる議会の活性化と、町民に開かれ信頼される議会づくりを進めるため設置



一般質問

我が町政を問う

浅川 紀明 P20

- 生成AIの活用促進
- 中学校部活動の地域移行

郷右近 佑悟 P20

- 運動施設の有効活用

鈴木 晴子 P21

- 「手話施策推進法」の具現化
- カスタマーハラスメント対策

土村 秀俊 P21

- 健康づくり事業の取り組み
- 耐震診断・耐震改修の取り組み

金萬 文雄 P22

- 避難所の熱中症対策
- 加齢性難聴への補聴器購入費用助成

一般質問とは議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質することです。本町議会の質問時間は、1人30分以内で、答弁時間は含みません。

質問と答弁を要約した内容は、20ページから22ページです。なお、全文記録(議事録)は12月中旬に利府町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください

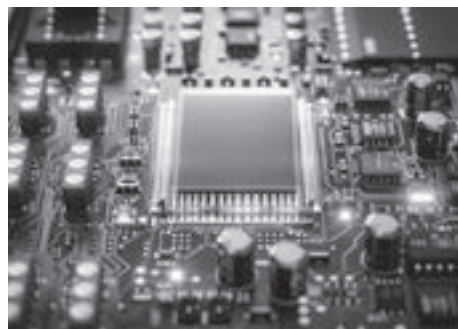




浅川 のりあき

質問者の動画が見られます

※生成AIの活用



AIの先進地を目指して

問 生成AI活用促進の計画を

答 町のDX推進計画改定で対応する

問 職員による生成AI活用とそのガイドラインの運用状況はどうか。

答 自治体専用の生成AIを導入し約2割が活用している。ガイドラインを作成して周知した。

問 職員の活用促進に向けた計画を策定しては。

答 DX推進計画を改定して対応する。

問 町のガイドラインは具体性がない。もっと利用しやすいものにしては。

中学校部活動

問 地域移行の取り組みは

答 地域移行計画は作成中

問 国は教職員の業務軽減等のため、中学校部活の地域移行を進めている。地域移行計画の策定状況は。

答 検討委員会を3回開催した。また、学校にアンケート調査を2回実施した。

問 地域移行に伴う、外部指導者の確保の見通しは。

答 地域の人材を把握する。

問 保護者の経済的負担をどう考えるのか。

答 適切な会費のあり方を今後検討する。

問 部活動の教育的意義を担保する制度設計は。

答 地域のクラブでの活動にも教育的な意義がある。実証事業を行う予定であるため、その中で検討する。

※ RPA II
コンピュータで行う定型作業をロボットで自動化すること。

※ 生成AI II
学習したデータに基づいてテキスト、画像、音声、動画などのコンテンツを自動生成する人工知能(AI)。



郷右近 祐徳

質問者の動画が見られます

町運動施設の活用



夏も安全・快適に運動しやすく

問 水泳授業への温水プール利用は

答 令和7年度に実施し検証する

問 小中学校の水泳授業の実施において、校外の屋内温水プールを利用する自治体が増えている。猛暑対策や維持管理費の経費削減が理由である。町として温水プールの利用を検討する考えは。

答 令和7年度、利府第二小学校の5・6年生を対象に、町温水プールを利用し、水泳授業の効果検証を行う予定である。

問 児童クラブでは夏休み中、学校プールを利用していたが、猛暑などの理由でプール開放が行われなくなった。町の温水プールを活用する考えは。

答 検討を進めていたが実施までは至らなかった。今後に向けて関係部署と協議していく。

問 夏は町温水プールが混雑するため、3時間ごとの利用者入れ替えで営業している。2時間ごとの入れ替えになれば、より多くの人が利用できると思うがどうか。

答 低温サウナなどを備えた多目的プールとしては利用時間が短いという声を受け、3時間にした経緯がある。利用者が多いのは7・8月に限定されており、利用時間の変更は考えていない。

問 町の屋外運動施設は、利用時間が17時までの施設がある。夏は17時以降も明るく、気温が下がり運動がしやすくなる。施設の利用時間を見直しては。

答 夏場の利用時間延長は、安全で快適なスポーツ環境につながると考える。次年度に向けて利用時間を検討していく。

一般質問



すず き はる こ
鈴木 晴子



質問者の動画が見られます

問 当事者の声の把握、施策への反映方法は。

答 国の計画や県の計画の改定内容を確認しながら、手話施策の趣旨を反映していきたい。

問 「手話施策推進法」が制定され、自治体の責務が明確になった。町として、法の理念をいかに施策へと具現化し、誰一人取り残さない社会を築いていくのか。

答 ヒアリング調査を行い計画へ反映

問 当事者の声の反映方法は

手話施策推進法



手話の理解促進を(手話サークルまほうの手の皆さん)

カスタマーハラスメント対策

問 対策指針を策定しては

答 必要性を検討していきたい

問 カスタマーハラスメント対策指針を策定してはどうか。

答 国から事業主が具体的に講じるべき措置が、今後示される。その内容を確認し、カスタハラ対策の推進方策を検討する。その中で、マニュアルの必要性も検討していきたい。

問 カスハラ対策は早急に検討すべきである。窓口などで大声を出すような人や、長時間の対応を強いられる場面があった際、周りがフォローする体制を整えるなど、すぐにできる対応策もある。窓口対応の体制強化を検討してはどうか。

答 先進事例等は研究している。国からも紹介されていることから、町に合った対策を検討していく。

一般質問



つちむら ひでとし
土村 秀俊



質問者の動画が見られます

答 最新の知見を踏まえてワクチンの有効性や安全性を確認した。子宮頸がん予防に高い効果があると理解し、令和4年4月から接種勧奨を再開した。

問 子宮頸がんワクチンは副反応の問題などで8年間、積極的接種の中断があった。厚労省は令和4年度から接種勧奨を再開したが、町も接種を推進していくのか。

答 国から胃カメラ検査が推奨されており、令和8年度の導入準備を進めている。

問 町は令和8年度から胃カメラによる胃がん検診を検討している。検討内容を伺う。

答 国から胃カメラ検査が推奨されており、令和8年度の導入準備を進めている。

問 耐震化は早急に進めていく必要がある。今後の取り組みは。

答 令和7年度から補助金を増額している。また、代理受領制度の採用で補助額の一時立て替えがなくなり、負担が軽減される。

答 令和4年4月から再開した

問 子宮頸がんワクチン接種推進は

健康づくり事業



胃カメラ検診が令和8年度で実施予定

答 補助金増額と代理受領制度を実施

問 今後の取り組みは

答 旧耐震基準建築物の耐震診断と耐震改修の実施状況を伺う。

問 旧耐震基準建築物の耐震診断と耐震改修の実施状況を伺う。

答 町内の旧耐震基準の住宅数1050戸に対し、令和6年度末時点の耐震診断は164件、耐震改修は92件である。耐震化は進んでいない。

問 進まない理由は。

答 家屋の老朽化や居住者の高齢化、核家族化、が進んでいることである。また、耐震改修に多額の費用が必要になることと承知している。

耐震改修の推進



こんばん 金 文雄



質問者の動画が見られます

加齢性難聴への補聴器購入助成

問 助成導入の検討状況は

答 引き続き検討する

避難所の熱中症対策



避難所の熱中症対策は必須

問 体育館にエアコン設置を

答 予算措置できよう検討

問 学校体育館は子どもたちの学習の場であり、避難所でもある。国は体育館の空調設置率を10年で2割から9割に引き上げるため、臨時特例交付金を新設した。町民からもエアコン設置を望む声がある。町は交付金を申請する予定があるか。

問 猛暑日の増加や高温の日が秋まで続くことを考えると、当面の熱中症対策として、大型扇風機の設置が必要と考えるがどうか。

問 交付金要件の聞こえの相談窓口設置や専門家の介入などは利用者にもメリットがあると考えられるがどうか。

答 2校が未設置のため、購入を検討している。

答 県の動向を見ながら、今後とも考えていく。

答 学校建て替えや改修を優先しており、交付金の申請予定はない。国の方針へは、予算措置できるように検討していく。

議会活性化特別委員会を設置

さらに町民に開かれた議会へ



設置理由

これまで取り組んできた議会活性化の取り組みを、さらに進化させるとともに検証を行うために設置します。

委員構成

委員長 鈴木 晴子
副委員長 永野 渉
委員 羽川 喜富
金萬 文雄
高木 綾子

・主権者教育の充実
・議会ICT化
・議員報酬、費用弁償

・議員相互間の自由討議
・町長が提案する政策などの形成過程の説明のあり方
・コンプライアンス、ハラスメントへの対応
・議会アドバイザーの活用
・議会活動の環境整備
・議会業務継続計画行動基準

所管事項

「利府町議会基本条例」の検証

主な検証・検討項目

6月定例会の議会運営

6月定例会の一般質問 われました。また、議長における質疑の中で、自身の議事運営において、適切な発言があったこと 中立性を欠く対応への陳謝が、9月定例会の最終員に対して厳重注意が行 日にありました。

議会 NEWS

議会構成

後期
メンバー

決定

新り選し
地点

町議会では議員の任期（４年）を前期と後期に分けて常任委員会等の構成替えを行っています。
なお、議長、副議長、議会選出監査委員、各組協議員は変更ありません。



議 長
鈴木 忠美



副議長
鈴木 晴子

総務企画常任委員会

- 委員長  永野 渉
- 副委員長  今野 隆之
- 委員  土村 秀俊
- 委員  阿部 彦忠
- 委員  郷右近佑悟

産業建設常任委員会

- 委員長  伊藤 司
- 副委員長  高久 時男
- 委員  鈴木 晴子
- 委員  浅川 紀明
- 委員  高木 綾子

教育福祉常任委員会

- 委員長  羽川 喜富
- 副委員長  小淵洋一郎
- 委員  金萬 文雄
- 委員  皆川 祐治
- 委員  須田 聡宏

議会運営委員会

- 委員長 羽川 喜富
- 副委員長 永野 渉
- 委員 土村 秀俊
- 委員 鈴木 晴子
- 委員 伊藤 司
- 委員 小淵洋一郎

議会広報常任委員会

- 委員長 鈴木 晴子
- 副委員長 金萬 文雄
- 委員 高久 時男
- 委員 小淵洋一郎
- 委員 高木 綾子
- 委員 阿部 彦忠
- 委員 郷右近佑悟

議会活性化特別委員会

- 委員長 鈴木 晴子
- 副委員長 永野 渉
- 委員 羽川 喜富
- 委員 金萬 文雄
- 委員 高木 綾子

宮城東部衛生 処 理 組 合

- 羽川 喜富
阿部 彦忠

塩釜地区 消 防 事 務 組 合

- 伊藤 司
浅川 紀明

宮城県後期高齢者 医 療 広 域 連 合

- 金萬 文雄

監 査 委 員

- 土村 秀俊

移住コーディネーター 地域おこし協力隊に聞く！



自分が感じた感動を伝えています

ミッションは 「町の魅力を100%伝える！移住相談の窓口」

移住コーディネーターは、新たな移住・定住施策の推進や交流人口の拡大に向けた取り組みを担います。「e-ハマハウス」を拠点とした各種移住体験イベントの企画などを行い、新たなシティプロモーションと移住・定住の推進につなげていきます。「町の魅力を100%伝える！」ことを目指して奮闘する移住コーディネーターをご紹介します。

Q1 お仕事はいかがですか？

人と関わることが好きなので、自分に合った仕事だと感じています。利府町に住んで、とても素敵なまちだと実感していることを、多くの人に伝えたいです。利府町の魅力を発信し、移住希望者と町をつなぐ架け橋になっていきたいと思っています。

Q2 協力隊になろうと思ったきっかけは？

いろいろな人と交流できる仕事に就きたいと思っていた時に、協力隊の募集を見つけました。

Q3 これからやってみたいことは？

利府は「スポーツのまち」を掲げています。昨年、犬を飼い始めましたが、ペットの存在の大きさを感じています。その思いを共有したく、将来は、利府町を「ドックスportsが盛んなまち」としたいです。そして「犬のまち」で有名にしたいと思っています。



神奈川からお越しいただきました移住体験者の坂本さんご夫婦へ、町の見どころを紹介しました



窓から表松島の風景が一望できます

移住体験住宅「e-ハマハウス」

日本三景松島の一角をなす沿岸部の風光明媚なエリアにあります。地域の方から、空き家となっていたこの物件を移住定住や交流人口・関係人口拡大に向けた拠点として活用できないかと提案がありました。物件を所有していた株式会社エンドーチェーン様からも町の活性化及びプロモーションとして有効活用してほしいとご賛同いただき、譲り受けた物件です。

若い世代と
つくる!!

特集
2ページ

200号

りふ議会だより
編集者

大募集!!

一緒に
作って
くれる人を



参加できる日
だけでOK!

対 象 高校生以上23歳まで

募集人数 10名(先着順)

日 時 11/29(土)、12/23(火)、1/6(火)
全日14:00~16:00

会 場 利府町役場 2F議員控室

利府町議会では開かれた議会を目指してさまざまな取り組みを行っています。その一環として、この度、「りふ議会だより」200号の特集のページを、若い皆さんと一緒に編集したいと思い参加者を募集します。

議会を若い世代の皆さんに身近に感じていただくきっかけになればと思っています。

待って
ます!

申し込みはこちらから



定員になり次第
締め切ります

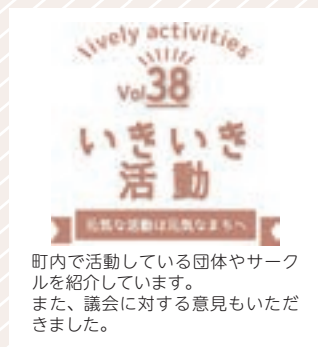
利府町議会事務局 022-767-2127



私たちと一緒に
編集作業に取り組んでみませんか?

りふ議会だより No.199

まちをイベントで盛り上げる リフ ブースト RIFU BOOST



利府をもっとおもしろく、
かつこよく！
もっと加速させる！



利府がもっと良くなるように！みんなで力を合わせて



関東からも学生ボランティアが

活動メンバーは、
メンバーは15人です。
20代から30代が7人と約
半数を占めています。今
回のハマスカまつりでは
県外の学生もボランティ
アに参加し、とにかく、
楽しく活動しています。

若いメンバーが中心

子どもたちが喜ぶことを
活動のきっかけは。
浜田地域のお祭りや盆
踊りがなくなってしまう
ようになります。地域に根
付いた、子どもたちが喜
ぶことをやりたいという
思いがあって、令和4年
に「ハマスカまつり」を
始めました。令和7年の
実施が決まった時に、組
織化して活動する必要性
を感じ、令和7年7月に
立ち上げました。

ハマスカまつりの ノウハウを活かし

―活動内容は―

「BOOST」は加速という意味です。イベントやお祭りを企画している団体に、「ハマスカまつり」のノウハウを活かして、企画がスムーズに加速していけるように支援していきたいと思っています。子どもたちが将来、地元を盛り上げたいと思えるような仕掛けを作りたいです。



感動のフィナーレ

若い力と大人の力が 融合

―今回のハマスカまつりを終えていかがでしょうか。―

若い力と大人の力が融合して、圧倒的な手ごたえを感じました。最後のスカイランタン打ち上げでは、そこにいるみんなが笑顔で空を見上げ、感動している姿がありました。



スカイランタンでみんな笑顔に

た。その姿に企画運営の苦労が一瞬で消え去り、わたしたちも感動がこみ上げてきました。その感動をもっと多くの人と一緒に体験したいです。

自立運営にチャレンジ

―活動する上で困っていることは。―

資金繰りが大変で、なかなか難しいと思っています。協賛金でや々と実施できたので、本当にありがたかったです。活動を継続していくためにも財政的に自立した運営にチャレンジしています。

利府駅前から町を 盛り上げたい

―新たに取り組みたいことは。―

駅前から町を盛り上げ

るためのイベントを企画したいと思っています。また、地域のお祭りやイベント、個人の企画に対しての支援も考えています。



メンバーもお祭りを盛り上げます

利府をもっとおもしろく

―議会や町民の皆さんへ一言。―

私たちと一緒に、利府をもっとおもしろく、かつこよく、もっとBOOST(加速)させましょう。議会の皆さんよろしくお願いします。

町民の皆さん一緒に活動しませんか？

連絡先

RIFU BOOST
メールアドレス

rifuboost@gmail.com

公式インスタグラム

rifu_boost

いっしょにRIFUを BOOSTさせましょう!!

全力で
愛する利府町を
熱くしたい!!!

ブーストとは
「増やす」
「高める」
「押し上げる」

若者の想いを
RIFUBOOSTが
つなげます

利府町を
みんなで
楽しく!

浜田・須賀を
もっと
楽しく!

たくさんの
笑顔の
ために!

スカイランタンで
利府を
盛り上げる

一緒にBOOST
する仲間を
募集!!

須賀
浜田に
来てね!

2024年度 NAVI 事業フェンシング
男女サーブル EFC カデサーキット
ドイツ・アイスリンゲン大会
女子サーブル 個人・団体 出場



まつ うちら ここ み
松浦 心美 さん 17歳
(利府高等学校3年生)

声
VOICE



相手が強ければ強いほど闘志が湧きます

インタビューテーマ

「町の鳳雛インタビュー」

今回の世界大会は、国内でもトップレベルの成績を収めなければ出場できないと伺っています。素晴らしいですね。フェンシングを始めたきっかけはなんですか？

ぎかい

小学校でチアリーディング、中学校でソフトボールをしていました。高校からフェンシング部に入りました。入部したきっかけは、東京オリンピックで、フェンシングの攻撃やスピード感がカッコよかったからです。

2年間で国内トップ選手になるには、かなり練習したと思いますが、頑張ったことはなんですか？

ぎかい

フェンシングは試合で追い込まれた時のメンタルを保つことが重要です。その場面を意図的に作り練習を重ねました。また、メンタルトレーニングにも力を入れました。部活の他にクラブでも練習を頑張りました。

将来の目標はなんですか？

ぎかい

国内大会で成績を残して、世界大会に出場することです。2032年ブリスベンオリンピックを目指しています。最終的には指導者になりたいと思っています。

利府町はどんな町だと思いますか？

ぎかい

スポーツの環境が整っていて、自然や商業施設もあって住みやすい町だと思います。

政治や町の事業に関心はありますか？

ぎかい

もうすぐ18歳なので、選挙のことを調べてみました。世界大会参加の時に、町の夢チャレンジ事業の助成を知り、活用できたのでとても助かりました。

まちづくりにご意見はありますか？

ぎかい

バスの本数が少ない地域に住んでいるので、学校や部活は家族に車で送迎してもらっています。公共交通を充実してほしいです。夢チャレンジ事業やふるさと納税でスポーツへの助成をもっと広げてほしいと思います。

鳳雛とは：将来すぐれた人物になることが期待される子どものこと。

発行 利府町議会

編集・発行責任者／議長 鈴木 忠美

編集/議会広報常任委員会

委員長 鈴木 晴子 副委員長 金萬 文雄

委員 高久 時男 小淵洋一郎 高木 綾子
阿部 彦忠 郷右近佑悟

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地
TEL:022-767-2127 FAX:022-767-2110

この議会だよりは1万4700部作成し、1部あたりの印刷製本費は約31円です。



利府町議会のホームページ
もご覧ください

みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は、**12月2日(火)**から**12月5日(金)**を予定しています。

議会からのお願い

取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。ご協力をお願いいたします。